

第2回 いい川・いい川づくりワークショップ

(第12回「川の日」ワークショップ)

“日本のいい川・いい川づくり” 募集!!

7月7日「川の日」の記念行事の一つとして全国の川や水環境に関する市民、行政に呼びかけ1998年にスタートした「川の日」ワークショップは、昨年9月、「いい川・いい川づくりワークショップ」と名前を改め、これまでの蓄積を踏まえ、新たな一歩を踏み出しました。過去11回の大会で782件の応募、5500人以上の参加を得ました。この催しは、私たちがめざす川や水辺はどんな姿なのか、私たちにとって“いい川・水辺”とはどんなことなのか、自由に柔軟に探っていこうと企画されました。各地で活躍する市民・住民・行政に呼びかけ、これこそ“いい川・いい川づくり”という事例や事業、思いを持ち寄り、その目的、取り組みを発表、議論し、少しでも“いい川・いい川づくり”のビジョン、イメージの共有につながれば、やがては日本中に個性豊かな愛着の持てる川や水辺が出現するとの思いからです。

今では、全国の8地域で地域大会が繰り広げられているとともに、第4回大会に招待した韓国では、韓国「川の日大会」が既に7回開催されています。

通算12回目となるワークショップは、山や里、水路や海、下水道や雨水の分野、まちづくり、福祉、教育など、フィールドやテーマを広げつつ、子どもたち、大学生、世代を越えたさまざまな人たちが一堂に会し、2日間にわたる驚きと感動にあふれた公開選考会と交流が行なわれます。みなさんの自慢の“いい川・いい川づくり”を持って、ご参加下さい。



- 2009年 9月 21日 (月・敬老の日) 10:00 ~ 18:00 19:00より交流懇親会
22日 (火・国民の休日) 15:30 閉会 *時間は予定です
- 会 場：国立オリンピック記念青少年総合センター 国際交流棟 国際会議室ほか
(渋谷区代々木神園町・新宿駅から小田急線 参宮橋駅より徒歩5分)

主 催:いい川・いい川づくり実行委員会

実行委員長 宮口 侗 他約130名

いい川・いい川づくりワークショップとは?

- 今回は、全体会場での全応募者一斉発表に始まり、テーマ別のテーブル選考、復活選考、会場からの意見も交えて行なわれる全体選考会のプログラムで、全てオープンに行われます。
- 各選考は実行委員会からそれぞれ選出された選考員(市民、行政、学識者など)が行います。選考の視点、評価のポイントは次のように考えています。
 - ◆ 川の「タカラモノ」に光を当て、「いい川」「いい川づくり」とは何かを探ります。
 - ◆ 内容の長所を評価する加点方式とし、短所は減点の対象としません。
 - ◆ 公開選考会は、おおよそ以下の4つのカテゴリーにおいて総合評価します。
 - 発想・着眼評価: “いい川”をめざすための斬新な発想や着眼、的確な視点についての評価
 - 関わり評価 : 地域住民と川との豊かで良好な関わり合いについての評価
 - プロセス評価 : “いい川”を育むための市民・住民参加や、さまざまな分野の人たちとの協働のプロセスについての評価
 - 計画・技術評価: 川らしさの保全や“いい川”回復のために工夫された計画手法や施工技術等についての評価や“いい川”を実現した技術に対し選考を行います。
- 応募者は、規定のプレゼンテーション用パネルを用意し、自由な表現方法で発表、アピールします。1件3分という限られた時間の中で、工夫を凝らし熱のこもった発表が毎回繰り広げられています。日頃の取り組みを発表すること、そして意見交換、参加者との交流を通じて、新たな発見、取り組みのエネルギーをつかみます。
- 選考は優劣を決めるものではありません。2日間を通じた合意の深まり、学びあいの成果として、グランプリや入賞を選びます。入賞者には、実行委員会よりオリジナルの表彰状や副賞を贈呈し、成果を讃えます。

第2回 いい川・いい川づくりワークショップ 大会概要

※プログラムの詳細、時間等は若干変更する場合があります。

9月21日 (月・敬老の日) **10:00 開会～18:30**

会場: 国立オリンピック記念青少年総合センター 国際交流棟 国際会議室ほか

全体集会

- ・国際交流棟 国際会議室 集合
- ・開会式／ワークショップの考え方や進め方等を共有します。

全体発表会
(全応募一斉発表会)

- ・全体会場での全応募団体の発表会
- ・7～8 件を 1 つのグループに分け、1 件につき 3 分間で続けて発表のみを行います(お昼をはさんで行います)。

テーマ別
テーブル選考

- ・全体発表会での発表を受けて、テーマ別の各テーブル(会場)で発表者、一般参加者を交えて議論します。
- ・同じテーマのエントリーが多数の場合、テーブルは複数となります。全体選考に各テーブルから 2 件を推薦します。

全体集会

- ・テーブル選考の結果報告
- ・韓国からの参加者による発表

交流懇親会

- (19:00 ～ ・会場:オリンピックセンター内レセプションホール)
- ・交流懇談会と 2 日目の選考に向けたアピール ※事前申込み・会費制

9月22日 (火・国民の休日) **9:15～15:00 閉会**

会場: 国立オリンピック記念青少年総合センター 国際交流棟 国際会議室

復活選考

- ・テーブル選考の選外から全体選考へ、ポスターセッション形式による追加推薦を選考員による投票で行ないます。

入選者発表会

- ・テーブル選考と復活選考で推薦された団体による発表会です。
- ・3 分/件、発表のみ

公開討論による
全体選考

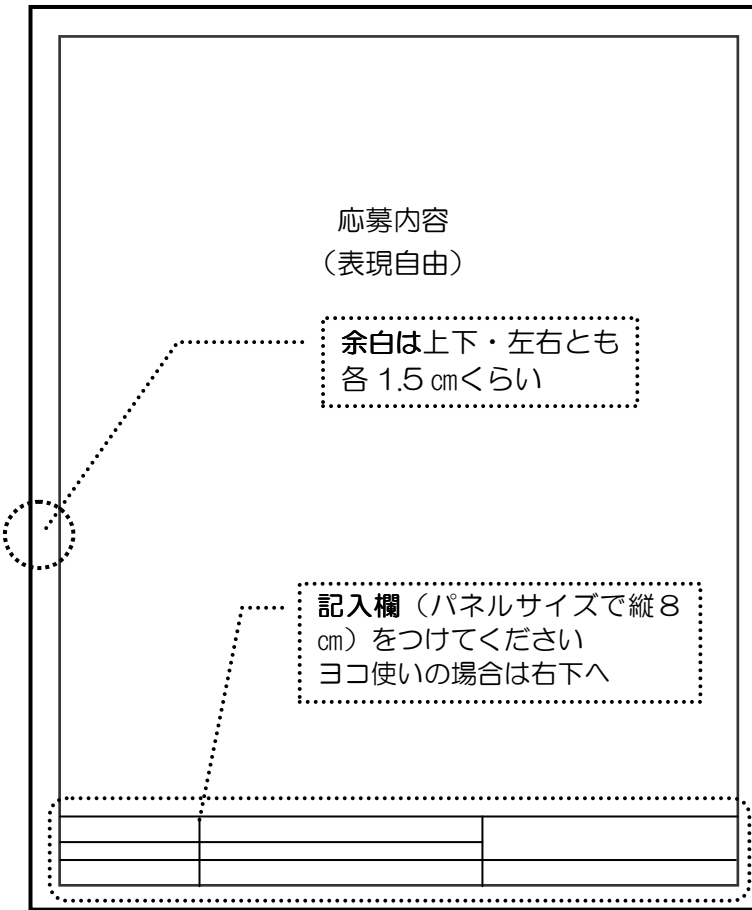
- ・二部構成の選考と討論のなかから、グランプリほか各賞の絞込みの議論を通じて、新たな“いい川”“いい川づくり”を発見し評価していきます。

講評・表彰

- ・グランプリ、準グランプリの表彰
- ・特別賞(広松伝賞、森清和賞、“いい川”技術賞)の表彰と講評

様式2【発表用パネル・パネル縮小版】

・パネル実物はA1（59×84cm）サイズ、パネル縮小版はA4サイズ、（タテ・ヨコ使いとも可）



発表用パネル（A1サイズ）

- ・所定の記入欄以外は、写真や図表、イラストのほか、さまざまな材料を用いた立体的なものも可能です。こだわらず自由に表現してください。
- ・発表では複数のパネルを使用できますが、展示・投票用のメインのパネル1点を決めておいてください。
- ・会期中、パネルは各会場に立てかけて展示します。発砲スチロール、厚紙等、形状は自由ですが、まっすぐ立てかけられる強度になるよう工夫して下さい。持ち運びやすいよう二つ折りなども可（設置するためのスタンド等はこちらで用意します）。

パネルの縮小版（A4サイズ）

- ・モノクロ可、選考用手元資料として使用します。実際のパネルとの多少の変更はかまいません。

共通事項

- ・余白は、上下・左右とも各1.5cm位
- ・河川名には必ずふりがなを入れてください（様式1も同様）、

記入欄：拡大図 * 拡大コピーして使用可

ふりがな 川や水辺の名称	(水系)	活動や事業の名称または応募に当たってのテーマ
所在地	県 市町村	
応募者名 所属団体名		(記入不要) エントリーNo.

◇ **応募の方法** 応募申込書（様式1）はホームページからもダウンロードできます。

1. **応募申込書（様式1）** ⇒ **8月8日まで**（メールによる送付歓迎）
 : 選考用手元資料原稿として使用します。内容については分かる範囲で記入してください。応募者欄は、発表予定者（連絡責任者）、複数の場合は代表者名を記入してください。
***今回はプログラム等の都合上、50件を目安に募集します。8/8以前でも定数に達した時点で募集を締め切る場合もありますので、お早めにお申込みください。**
2. **パネルの縮小版（様式2）** ⇒ **8月21日まで（必着）**
 : 選考用手元資料の原稿として印刷、配布します。実際のパネルとの多少の変更はかまいません。
3. **発表用パネル（様式2）** ⇒ 当日持参、または事前に送付。
 : 上記参照、事前に送付される場合は、必ず事務局までご連絡ください。*会場には直接送れません
4. **水辺の風景や状況、活動の様子などの写真（1点か2点）** ⇒ 応募申込書か縮小版とともに送付
 : 事前にエントリー団体の概要とともにホームページで紹介します。また、全体選考の発表で、会場全体でその川のイメージを共有するための写真をスクリーンに表示したいと思います。ホームページ用は活動等の様子が分かる写真でも構いませんが、スクリーン表示用の写真は、水辺全体の雰囲気分かるような写真を送ってください。*デジタル、プリントどちらも可。返却が必要な場合は予めお知らせください。

※別項「発表の方法」もあわせてよくご確認ください！

◇ 発表の方法 ※別項「応募の方法」もあわせてよくご確認ください！

- ・ 選考の各過程を想定してご準備ください。配布資料等を当日持ってくることもできます。

選考会 1 日目 (21 日) : 全体 (一斉) 発表会及びテーマ別テーブル選考

- ・ 応募申込書(様式 1)の「主に発表したいこと」等の内容を参考に、事前に事務局によりグルーピングします。
- ・ テーブル選考に先立ち、全体会場(国際交流棟国際会議室)のステージで、全応募者の一斉発表会を行いません。発表時間は各3分で、続けて発表のみを行います。発表者は複数でもかまいません。質疑等は、全体発表会の後ただちに行うテーブル選考で行います。
- ・ 発表用パネル(必須)のほか、時間内にスライド、パソコン等も使用できますが、水辺の状況や活動の様子、技術の内容など全体のイメージやアピールしたいこと伝えるための写真等3点まで(パワーポイントならスライド3枚、静止画のみ)とします。パワーポイントを使用する場合は、ノートパソコンをご持参ください。
- ・ ただし、パワーポイント等に頼らないユニークな表現やアピールしたい事を効果的に強調する創造的な工夫は、このワークショップでの大きなポイントの一つになります。
- ・ 発表している川や水辺の全体のイメージを会場全体で共有するため、発表中、会場に水辺の風景写真等1点/団体を映し出す予定です(発表者が使うスライドやパワーポイントとは別にスクリーンを設置予定)。川や水辺の全体の様子が分かるような風景写真(デジタル、プリントどちらでも可)を事前に送ってください。
- ・ 発表パネルは全て、会場に展示します。

選考会 2 日目 (22 日) : 復活選考および入選者発表会

- ・ 2日目スタートと同時に、テーブル選考で選外となった発表から全体選考に追加推薦する目的で、パネルの一斉展示によるポスターセッション形式の復活選考を行いません。
- ・ テーブル選考及び復活選考からの推薦団体を入選団体とし、1日目と同じ全体会場のステージで発表します。ここでも3分間の発表時間(発表のみ)が与えられます。前日の発表の手ごたえや、議論の結果等を受けて発表をアレンジするなど工夫してください。
- ・ パワーポイント等は使用できますが、前日と同様、静止画で3点(枚)までとします。
- ・ 全体選考は、コーディネーターによる進行のもと、選考員や会場とのやりとりによりグランプリ等の絞込みを行いません。その後ただちに表彰等を行い、閉会となります。

◇ その他

- ・ このワークショップの目的は、“いい川”のイメージをお互い共有することにあります。交流会は自由参加ですが、21日午前中からの2日間のフル参加を原則とします。
- ・ 応募申込書(様式 1)とパネルの縮小版(様式 2)は、当日の選考用手元資料として冊子(A4 サイズ、モノクロ)にします。応募申込書に記入された個人情報については、主催者側で厳重に管理し、本大会に関わること以外の目的では使用いたしません。
- ・ 21日(月)夜は、交流懇親会を行います。選考二日目の重要なアピールの場ともなりますので、ぜひご参加下さい(参加費:飲み物代込みで大人 3,500 円、中・高校生 2,000 円、小学生 1,500 円程度を予定)。
- ◆ **市民の応募者で遠方の方には、旅費の一部補助を予定していますが、予算の制約上、今年は従来どおりの補助等が困難になっています。詳しくは事務局までお問い合わせください。行政、企業の方は自己負担にてお願いします。**
- ◆ **今回は、会場のオリンピックセンターでの宿泊ができません。宿泊は参加者独自に一般の宿泊施設等を確保していただきますよう、ご協力をお願いいたします。連休中の開催ですので、お早めのご予約をおすすめします。**
- ☆ **初めての応募を歓迎しています！ご不明な点など、下記事務局までお気軽にお問い合わせください。**

● 応募・問い合わせ先: いい川・いい川づくり実行委員会事務局

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 1-20-14-301 NPO 全国水環境交流会

TEL: 03-3408-2466 FAX: 03-5772-1608

E-mail: kawanohi-2006@mizukan.or.jp URL: <http://www.mizukan.or.jp/kawanohi/kawanohi.htm>

* このワークショップは、河川整備基金により運営されます。

(記入不要)

エントリーNo.

様式1【応募申込書】

活動や事業の名称または応募に当たってのキャッチフレーズ（両方記入可）

川や水辺の名称 *ふりがなを忘れずに！	ふりがな _____	*川の場合 (_____)	川水系)	
所在地	都・道・府・県	市町村	付近	
川や水辺の状況 ・川幅や瀬や淵など川の形状、水質や流れ、生きもの、景観や名所、洪水や治水などの状況、過去と現在の違い ・住民と川の歴史、関わりなど				
活動や事業の内容 ・内容 ・成果 ・課題 など				
活動・事業の期間	活動の場合： _____年から，年 _____回	事業の場合： 着工 _____年～竣工 _____年		
以下の項目は、テーマ別テーブル選考のグループ分けの参考にしますので、必ず記入してください				
主に発表したいこと ※一つに○印	① 調査や研究活動 / ② 広報や啓発のためのイベント活動 / ③ 環境学習や体験活動 ④ 水辺の計画づくりや整備事業等への参加 / ⑤ 環境保全や回復の実践活動 / ⑥ “いい川”・水辺を実現した技術 ⑦ その他 (_____)			
発表者 いずれかに○印	小・中・高校生但し高校生は市民等でも可 / 市民（個人、任意団体、NPO法人等）/ 行政 / 官民共働 / 企業 / その他 (_____)			
アピールポイント ① 活動や事業の発想・視点の先進性やユニークさ ② 地域の歴史や暮らしとの結びつき ③ “いい川”づくりへのプロセス ④ 工夫した計画手法や技術 ⑤ その他	①～⑤の各項目で特に該当する内容があれば、番号を示して具体的な内容を記入してください。			
キーワード（3つ）				
応募者	ふりがな 応募者名	発表者想定人数： _____名・発表者以外参加者 _____名		
	連絡先 (公開可・非公開) (自宅・下記所属・その他) 該当する方に○印	住所：〒 _____	TEL： _____ FAX： _____	
	所属団体 (市民・行政) 該当する方に○印	ふりがな 所属名（団体・部署名など）： ホームページ URL：		
	これまでの参加	新規 _____ / 第 _____ 回大会参加（一次・二次・三次・グランプリ）		